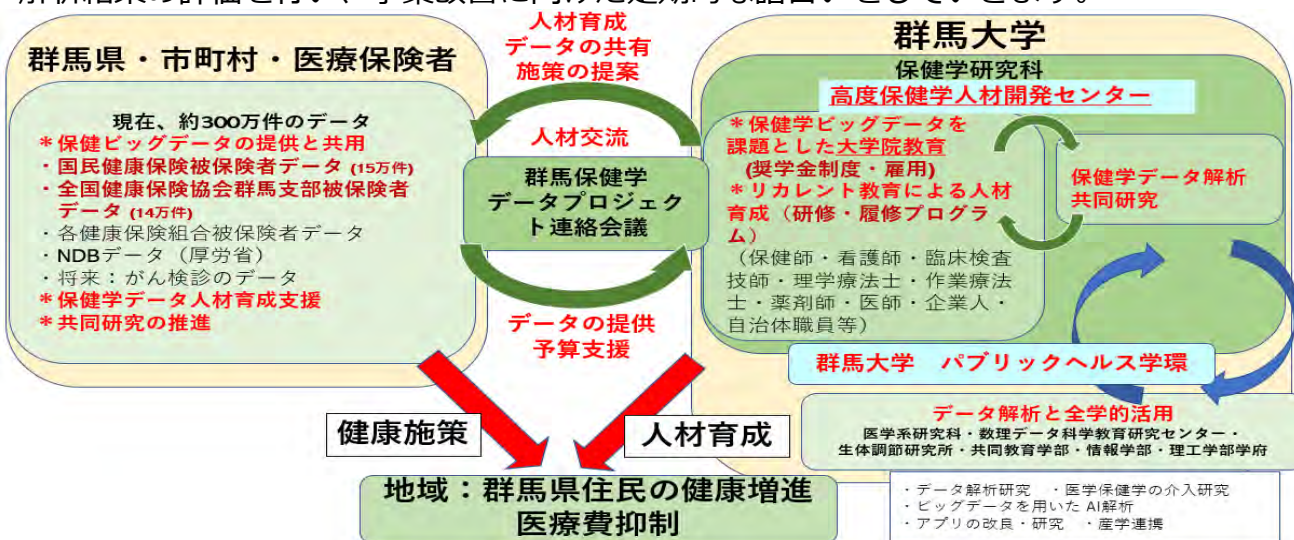


高度保健学人材開発センターからのお知らせ

群馬ヘルスビッグデータの統合へ

高度保健学人材開発センターは、群馬県と協働で、国民健康保険被保険者データの解析を進めています。今後は、全国健康保険協会群馬支部の被保険者データや後期高齢者医療保険データも加わり、「健診、医療、介護のデータ」を一体的に解析する体制を構築していく予定です。行政や保険者と協力し、群馬県における健康課題の設定や解析方法の検討、解析結果の評価を行い、事業改善に向けた定期的な話し合いをしていきます。



ヘルスデータ研究者の卵たちが未来を切り拓く

パブリックヘルス学環、保健学研究科、医学系研究科の大学院生を中心に、留学生や学部生も加わり、パブリックヘルスのJournal Clubやプログラミング勉強会が活発に行われています。ヘルスケアの未来を担う若い研究者たちが、群馬から新たな可能性を切り拓いていきます。



群馬大学大学院保健学研究科附属高度保健学人材開発センターとは

群馬大学大学院保健学研究科では、保健・医療・福祉分野に関連する様々なビッグデータを活用し、住民の健康増進や予防医学に貢献できる高度保健学人材の育成に積極的に取り組むために、高度保健学人材開発センターを設置しました。本学のパブリックヘルス学環を始め、群馬県及び関係機関と連携しプロジェクトを進めています。

私たちの活動をご覧いただき、ご意見をお聞かせください。

アンケートへのご協力をお願いいたします。⇒

お問合せ先：保健学研究科長 齋藤貴之 (tsaitoh@gunma-u.ac.jp)

